

との進路を選ぶ？

☆就職(民間企業等)

就職試験までの流れ

- ① 夏前の三者面談までに企業を絞り込む。
- ② 夏休み直前に校内選考が行われる。
- ③ 夏休み中に会社見学をする。
- ④ 夏休み終了直後に履歴書・調査書を作成、発送。
- ⑤ 9月16日の統一選考日から随時、受験開始。

～校内選考基準～

- ・企業への応募・推薦は、9月中は1人1社のみ。10月以降は2社まで可能とする。
- ・推薦で内定した後は、取り消し(辞退)はできない。
- ・欠点、欠席、欠課の他、生徒指導上問題がある者は校内推薦を保留。
- ・公務員と民間企業との併願は認められない。他

☆大事なポイント！！☆

- 受験はすべて校長推薦となるため、生活・態度・学習成績・欠席日数・部活動実績等が評価される。
- 制服・頭髪・眉毛等は普段から受験に行ける状態に。

就職採用試験の例

- ・面接試験(人物評価)
- ・学力試験(基礎学力)
- ・作文試験(思考・特性評価)
- ・適性検査(SPI等、性格や個人、集団の行動特性、耐ストレス性)

☆公務員

- 国家公務員と地方公務員がある。
- 職種は技術専門職の他に、県庁・市役所・町役場の事務、税務署職員、警察官、消防官、刑務官など。
- 試験は適性検査・一般教養・一般知能・作文・面接など。
- ※厳しい競争倍率となるため、1・2年生から公務員模試等の準備が必要。まずは、模試を受けてみよう！

☆4年制大学

- 理論や技術などを幅広く、深く学び研究する場。卒業後は学士号の学位が与えられる。取得できる資格は、教員免許、学芸員、図書館司書等。
- 学校推薦型選抜(指定校推薦)を利用し、私立の工業系大学への進学や、総合型選抜(AO入試)で専門外の学部を目指すことが可能。
- 国公立大学や難関大学を目指す人は、普通5教科の課外指導や小論文・面接指導および模試等を受ける必要がある。

～大学入試受験基準～ 新しく規定が変わります！！

- ・志望校の推薦基準を満たしていること。
- ・欠点科目がないこと。
- ・正当な理由ではない、欠席日数・欠課時数がないこと。
- ・生徒指導上の問題がないこと。
- ・課外等を積極的に受講していること。
- ・学校推薦の場合は、原則として他校との併願不可。他

☆専修学校(専門学校)

- 専門とする職業に必要な技術や能力を身につけるための学校であり、その道のプロ(就職先)に直接つながる大きなメリットがある。
- しかし、その学校に入ってから、他にやりたい(学びたい)ことができた場合には、それまでのお金・時間・労力が無駄になってしまう。
- つまり、中途半端に専門学校等を選ぶのは大変危険である！学費や卒業後の進路をよく考えよう！

* 求人状況や学校について調べたい人は、**進路指導室を活用しよう！**

* 許可を得てから入室。(誰もいないときは、職員室の先生を尋ねる。)飲食禁止！

